

青葉城資料展示館

青葉城は、かつて、仙台藩の初代藩主で仙台市を築いた伊達政宗（1567-1636 年）の屋敷でした。この城はもうありませんが、いくつかの礎石や、城壁の一部は残っています。青葉城資料展示館は、城跡にあります。資料展示館では伊達政宗の生涯および彼が遺したものに関する記録が保管されており、模型や CG シアター、VR ゴーなどを通して青葉城が再現されています。

伊達政宗

伊達政宗は日本の最も強力な武将の 1 人であり、大きな三日月を冠した兜をかぶり、象徴的な黒の鎧を身につけた姿で現わされます。伊達政宗は、戦乱の世に終止符を打った 1600 年の関ヶ原の戦いで、徳川家康（1543-1616 年）の勝利に一役買っています。この戦の勝利を経て、家康は、その後 250 年にわたって存続した平和と繁栄の武家政権である徳川幕府（1603-1868 年）を開府しました。

政宗の功績を称え、家康は政宗を、今日の宮城県ならびに岩手県と福島県の一部を含む東北地方の藩主に任じました。。政宗は、その新しい土地を調査し、城の建築を始めました。彼は海に面した台地の上に城を構築し、平和で栄えた町を作ることを明言しました。

青葉城

いくつかの礎石と城壁を除いて、現在、城はほとんど残っていませんが、展示室の展示品から、来訪者たちは 17 世紀にどのようなものだったか想像することができます。敷地内にある CG シアターでは、日本語によるナレーション付きの短い映像を見ることができ、青葉城の敷地や主な建物についての案内を聴くことができます。

よりリアルな体験を希望するのなら、VR ゴーをレンタルして青葉城跡のガイドなしツアーを楽しみましょう。ツアーは展示室から始まり、8 か所を巡ります。ここでは、青葉城の本欄の姿を感じ取ることができる、VR により再現された城の全景を見ることができます。屋外で大広間の礎石の中で VR スコープを使うと、広間の中を覗くことができます。内部は細部に至るまで表現されており、屏風などの装飾も再現されています。VR スコープをレンタルすると、(日本語ガイド用) イヤホンと VR スポットを示したパンフレットが渡されます。

城跡を探索

大広間の礎石の合間を通り抜け、青葉城のかつてのスケールを体感しましょう。近くにある伊達政宗公騎馬像は、馬にまたがった有名な兜に鎧姿の政宗公を表現しています。敷地の端の方には断崖絶壁の懸造跡があり、仙台市の全景を見渡すことができます。

敷地内には他にも、仙台市最大の夏のお祭りである仙台七夕まつりの飾りが 1 年を通して展示され

ている売店、そして、地元の郷土料理や軽食を提供しているフードコートがあります。仙台の歴史に関する詳しい情報については、青葉城資料展示館から徒歩 10 分の場所にある仙台市博物館までお越しください。